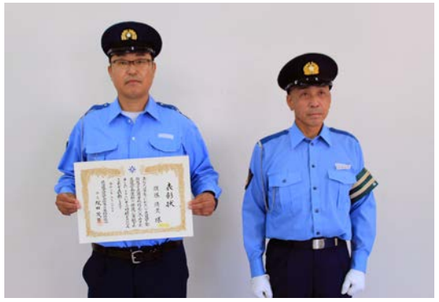
交通安全活動推進の功績をたたえて

新森利明さん　須藤清貴さん



７月１３日、北海道交通安全指導員連絡協議会表彰を受賞された新森利明さん（２３区）と須藤清貴さん（２４区）へ長沼町交通安全指導員会　大沢統治会長から、表彰状が伝達されました。

新森さんと須藤さんは、それぞれ平成１７年４月から交通安全指導員として、長きにわたり交通安全指導や交通事故防止に尽力された功績が認められ、このたび表彰されました。

（都合により欠席となった新森さんへは、後日表彰状が伝達されました。）

タンチョウも住めるまちづくりが受賞！

７月１５日、「タンチョウも住めるまちづくり」の取組が、一般社団法人全日本建設技術協会が主催する「全建賞」の河川部門を受賞し、同取組でともに受賞した札幌開発建設部千歳川河川事務所 武田淳史所長が町長室を訪れました。

全建賞とは、昭和２８年に創設され日本の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために、社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々の国民ニーズに沿った取組を表彰するもので、「タンチョウも住めるまちづくり」は、北海道開発局と長沼町が多様な主体と連携し、治水施設である舞鶴遊水地において国の特別天然記念物であるタンチョウの営巣を復活させるとともに、農業や観光など町の経済活性化に取り組んでいることが評価されたものです。

新規就農者激励会を開催

７月１５日、令和３年度新規就農者激励会が町民会館で行われ、齋藤町長とながぬま農業協同組合　成田代表理事組合長から、新規就農者の皆さんへ記念品と激励状がそれぞれ手渡されました。

今年度の新規就農者は４名で、新規就農者を代表して、北本真樹さん（９区）は「一日も早く地域の皆さんに認めていただけるような農業者になれるよう努力したいと思います。また、農作業の忙しい中、この会の趣旨を理解し出席させてくれた家族に、感謝の気持ちを伝えたいです。」と話されました。

瑞宝単光章を受章

塚田　渉さん

６月２２日、令和３年春の叙勲伝達式が役場で行われ、元長沼消防団副団長の塚田渉さん（２１区）へ、勲章などが伝達されました。

塚田さんは、昭和４６年に消防団員に任命以来、分団長や副団長などを歴任され、４６年間の長きにわたり地域の消防や防災の発展向上へ貢献された功績が認められ、このたび表彰されました。

教育及び文化の振興に役立てて

宮北秀吉さん

６月２４日、宮北秀吉さん（札幌市）から、教育及び文化の振興に役立てていただきたいと、１０万円のご寄附がありました。

タンチョウも住めるまちづくりに役立てて

伊藤忠エネクス㈱

７月１２日、タンチョウも住めるまちづくりに役立てていただきたいと、伊藤忠エネクス㈱から３４万７，８００円のご寄附があり、中嶋康之札幌支店長が来町され、目録贈呈式が行われました。

同社は、次世代を育む環境づくり・人づくり・コミュニティづくりを社会貢献活動の基本方針とされていて、このたびは、株主総会において、議決権の電子行使により削減された郵送費用などの一部をご寄附いただいたものです。

事故のない車社会を願って

夏の全国交通安全運動期間（７月１３日～２２日）初日の７月１３日、道道札幌夕張線の長沼郵便局前で、旗の波街頭啓発が行われました。

当日は、長沼町交通安全推進協議会（齋藤良彦会長）構成団体関係者など約２００名が参加し、黄色い旗を掲げて道行く車にシートベルトの着用やスピードダウンを呼びかけました。